
豊橋田原ごみ処理施設
整備・運営事業
落札者決定基準

令和3年12月

豊橋市

豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業 落札者決定基準
目 次

第1 落札者選定の手順	1
1 落札者決定基準の位置づけ	1
2 選定の手順	1
第2 参加資格審査	4
1 参加資格要件の項目	4
第3 提案審査	4
1 提案書の基礎審査	4
2 提案書の定量化審査	4
3 開札及び入札価格の確認	6
4 入札価格の定量化審査	6
5 総合評価値の算定方法	6
第4 提案書の定量化審査において審査する点	7
第5 提案書に関するヒアリング	10
第6 審査結果等の公表	11

第1 落札者選定の手順

1 落札者決定基準の位置づけ

豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業（以下「本件事業」という。）を実施する事業者は、ごみ焼却施設及びリサイクル施設の設計・建設及び運営に係る専門的な知識やノウハウ（管理運営能力等）を有することが必要となるため、落札者の決定に当たっては、入札価格だけでなく、提案内容によって落札者を決定する総合評価一般競争入札を採用する。

この「豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業 落札者決定基準」（以下「落札者決定基準」という。）は、豊橋市（以下「市」という。）が本件事業を実施する落札者の募集・選定を行うに当たって、入札に参加しようとする者を対象に交付する入札説明書と一体のものである。

落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により落札者を選定するに当たって、要求水準書等の内容を踏まえ、入札参加者から提出された提案書等を客観的に評価する基準、方法等を示し、入札参加者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

2 選定の手順

本件事業における事業者の選定は、総合評価一般競争入札方式に基づき、3頁の図1-1に示す手順で実施する。

(1) 参加資格審査

市は、提出された参加資格審査申請書により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

(2) 提案審査

ア 提案書の基礎審査

豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）は、提案書等に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

イ 提案書の定量化審査

審査委員会は、提案書に記載された内容について、落札者決定基準に示す審査基準及び得点化方法に従って評価する。

ウ 開札及び入札価格の確認

市は、入札書に記載された入札金額が入札書比較価格を超えていないことを確認する。この結果、入札金額が入札書比較価格を超える場合は失格とする。

エ 入札価格の定量化審査

審査委員会は、入札価格について、落札者決定基準に示す得点化方法に従って評価する。

オ 総合評価値の算定

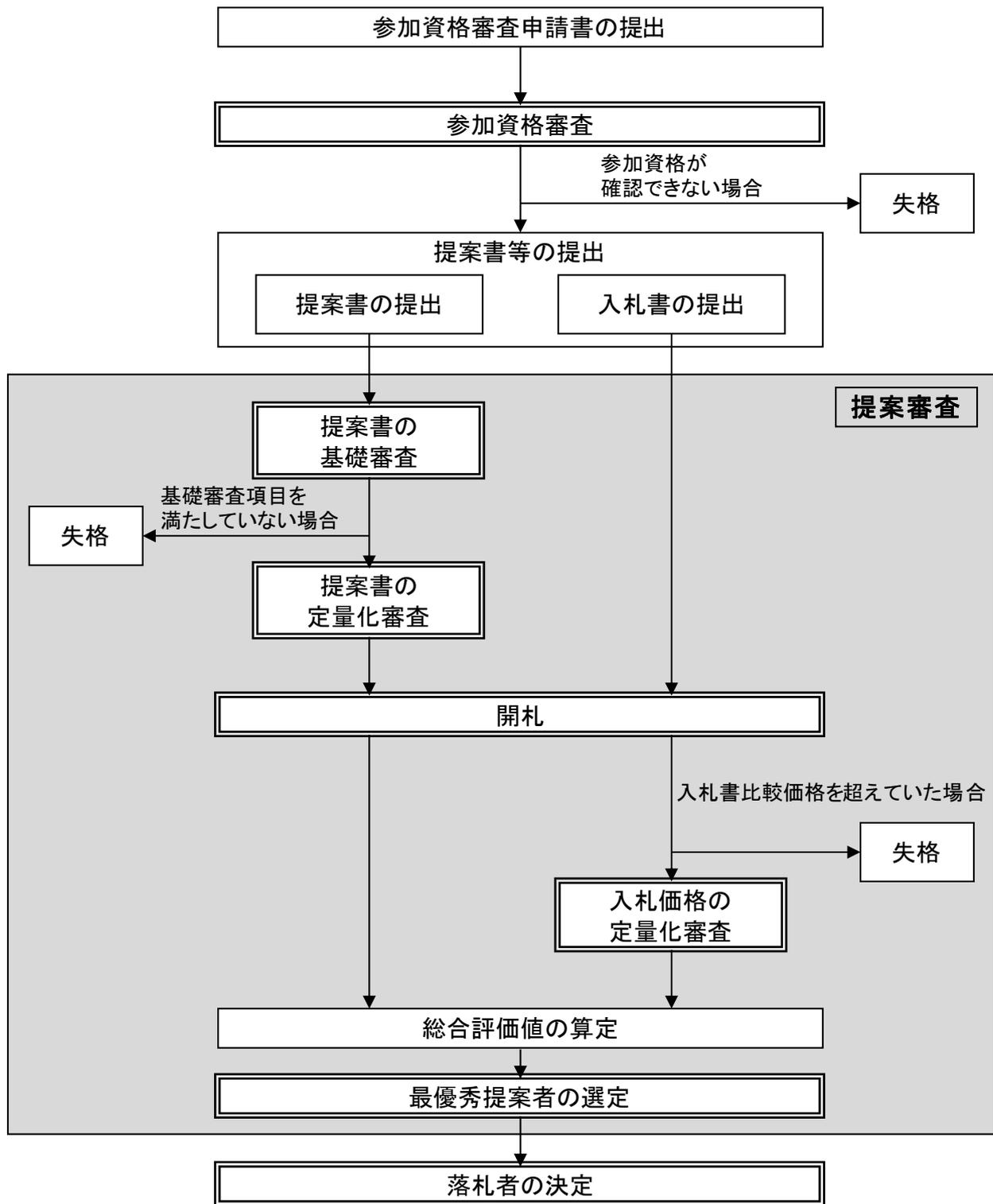
審査委員会は、提案書及び入札価格の定量化審査における得点を合計し、総合評価値を算出する。

カ 最優秀提案者の選定

審査委員会は、総合評価値が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として選定する。

キ 落札者の決定

市は、審査委員会の審査結果を踏まえ、落札者を決定する。ただし、審査委員会が2以上の最優秀提案者を選定した場合は、当該最優秀提案者によるくじ引きにより落札者を決定する。



※最優秀提案者を選定する審査委員会の事務は図中網掛け部分

図 1-1 落札者決定の手順

第2 参加資格審査

1 参加資格要件の項目

参加表明書と同時に提出される参加資格審査申請書を確認する。参加資格審査基準日は、参加資格審査申請書受付最終日とする。

詳細については、入札説明書「第3章 入札参加に関する条件等」(P.8~13)を参照のこと。

第3 提案審査

1 提案書の基礎審査

(1) 提案書等の確認

提出された提案書等がすべて揃っていることを確認する。

(2) 提案書の基礎審査

提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎審査項目を満たしていることを確認する。

ア 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。

イ 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。

ウ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

2 提案書の定量化審査

(1) 提案書における審査項目及び配点

提案書の定量化審査の配点、審査基準及び得点化方法については、事業期間にわたって各施設を「市民の生活を守る安全・安心で安定した稼働ができる施設」、「環境負荷を低減する環境にやさしい施設」、「エネルギーと資源の有効活用を推進する施設」、「地域に開かれ、親しまれる施設」、「経済性に優れた施設」といったに示す5つの基本方針(要求水準書7頁参照)に配慮した施設整備及び運営を行うことの必要性・重要性を勘案し、市が本件事業に対して民間の創意工夫の導出を期待する度合いにより設定した。したがって、審査項目は、市が民間に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

審査項目及び配点については、次の表3-1のとおりである。なお、各審査項目における審査基準等の詳細については、「第4 提案書の定量化審査において審査する点」を参照のこと。

表 3-1 審査項目及び配点

審査事項	審査項目			配点	
	大項目	中項目	小項目		
1 設計・建設及び運営業務に関する事項				56点	
(1) 市民の生活を守る安全・安心で安定した稼働ができる施設				30点	
	ア 基本方針	① 全体事業計画	4点	4点	
	イ 配置動線計画	① 屋外配置動線計画	2点	4点	
		② 屋内配置動線計画	2点		
	ウ 施設の安定稼働	① 処理システムの信頼性	4点	11点	
		② 事故等の未然防止及び事後対策	4点		
		③ 基本性能の維持及びメンテナンス	3点		
	エ 施設の安全性	① 災害時の安全確保	4点	6点	
		② 作業環境及び施設利用者の安全確保	2点		
	オ 運転管理	① 体制	2点	5点	
		② 運転・維持管理	3点		
(2) 環境負荷を低減する環境にやさしい施設				8点	
	ア 環境負荷の低減と環境保全	① 温室効果ガスの抑制	3点	8点	
		② 最終処分量	3点		
		③ 公害防止基準を満足するための取組み	2点		
(3) エネルギーと資源の有効活用を推進する施設				12点	
	ア エネルギーの有効活用	① 余剰電力量の最大化と有効活用	4点	6点	
		② 省エネルギーの取組み	2点		
	イ 資源化	① 金属類の資源化	3点	6点	
		② 焼却灰、スラグ及びメタルの資源化	3点		
(4) 地域に開かれ、親しまれる施設				6点	
	ア 地域経済及び地域社会への配慮	① 地元雇用や地元企業の活用	2点	2点	
	イ 環境教育、環境学習	① 見学者対応及び環境学習計画	2点	2点	
	ウ 景観	① デザイン及び景観	2点	2点	
2 事業計画に関する事項				4点	
(1) 事業収支計画				2点	
		① 経営計画及び事業収支計画策定方針と事業の継続性に係る担保	2点	2点	
(2) リスクの管理及び対処方法				2点	
		① リスク管理方針とセルフモニタリングの実施内容	2点	2点	
3 入札価格に関する事項				40点	
(1) 入札価格				40点	
合計				100点	

(2) 事業提案に関する得点化方法

ア 提案を求めている審査項目においては、次の4段階評価による得点化方法により得点を付与する。

表 3-2 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	提案内容が優れており、かつその効果が期待できる	配点×1.00
B	提案内容の効果が期待できる	配点×0.75
C	提案内容の効果がある程度期待できる	配点×0.50
D	要求水準を満たしている程度	配点×0.25

イ 各審査項目の評価点については、次の算定式①により、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とする。

ウ イの結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出する。

算定式①【事業提案の得点算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{事業提案に関する得点} \end{array} \right) = \Sigma \left(\frac{\text{各審査項目の配点} \times \text{審査基準}}{\text{委員人数(6名)}} \right)$$

3 開札及び入札価格の確認

提出された入札金額が入札書比較価格を超えていないことを確認する。なお、入札価格の確認のための開札は、提案書の定量化審査終了後、入札説明書に定めた方法により実施し、入札金額が入札書比較価格を超えていない提案のみ入札価格の得点化を行うこととする。

4 入札価格の定量化審査

(1) 入札価格に関する得点化方法

入札価格においては、入札価格（様式集、様式第14号に記載する金額をいう。）について、次の算定式②により得点を付与する。なお、得点は、小数第3位を四捨五入した値とする。

算定式②【入札価格の得点算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right) = 40 \text{点} \times \left(\frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \right)$$

5 総合評価値の算定方法

「2 提案書の定量化審査」、「4 入札価格の定量化審査」により算出した各入札参加者の得点から、次の算定式③により、各入札参加者の総合評価値を算出する。

算定式③【総合評価値の算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{事業提案に関する得点} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right)$$

第4 提案書の定量化審査において審査する点

審査委員会は、各審査項目について、審査基準に基づき審査を行い、その内容に応じて、4段階評価により得点を付与する。なお、各項目については、審査の視点に対して、各入札参加者の過去の経験等を踏まえたより実現性の高い提案が望ましいものとする。

表 4-1 提案書の定量化審査において審査する点

審査事項	審査項目			No.	審査の視点	配点
	大項目	中項目	小項目			
1 設計・建設及び運営業務に関する事項						
(1) 市民の生活を守る安全・安心で安定した稼働ができる施設						
	ア 基本方針	① 全体事業計画	1	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針や重点配慮事項を踏まえた特色のある施設づくりに向けた整備方針の妥当性を期待する。 建設工事期間中の安全対策及び、既存施設の稼働に支障をきたさない全体工事計画の妥当性を期待する。 工事工程について、要求水準書に示す各施設の竣工時期及び設計・建設期間内での工事の完了が確実に実行される具体的な工事計画の立案、工事計画の順守のための具体的な取り組みに計画性と妥当性を期待する。 本事業の実施にあたって、特に創意工夫した点について妥当性及び実効性を期待する。 	4点	
	イ 配置動線計画	① 屋外配置動線計画	2	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の円滑な連携が期待できる施設配置や、敷地全体の動線計画の計画性と妥当性を期待する。 車両と車両、車両と人に対する安全確保、不要な周回を必要としない車両動線や一般持込車等にも分かりやすい場内誘導・サイン計画の構築、年末等の繁忙期における車両集中対策に対し、設計面からの創意工夫を期待する。 	2点	
		② 屋内配置動線計画	3	<ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却施設及びリサイクル施設のプラットホームにおける受入供給設備、待車、貯留、移送、投入作業等の配置動線計画に対し、安全性、作業性及び合理性を期待する。 施設全体を通して各諸室や機器の配置について、安全面、運転・維持管理面等から計画性と妥当性を期待する。 	2点	
	ウ 施設の安定稼働	① 処理システムの信頼性	4	<ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却施設及びリサイクル施設の処理システムの信頼性向上の取り組みとして、設備構成、設置基数(予備機)、最新技術の採用等について、設備面での充実に期待する。 ごみ焼却施設及びリサイクル施設の処理能力及び処理条件について、計画性と妥当性を期待する。 ごみ焼却施設及びリサイクル施設において、計画ごみ質や計画処理量の季節的変動、経年的変動への対応力、維持管理費用の増加や発電電力量の低下防止について、設計面の創意工夫を期待する。 	4点	
		② 事故等の未然防止及び事後対策	5	<ul style="list-style-type: none"> 過去の事故事例などを踏まえた運転管理業務及び維持管理業務における事故等の未然防止及び事後対策について、具体性と実効性を期待する。 プラントの中核となる設備や動作環境の厳しい設備については、故障事例などを踏まえ、耐久性や事故・故障防止対策を講ずるなど、施設の安定稼働に配慮した強靱なシステムを構築する。 ごみに起因する火災、爆発及び設備機器の損傷を防止するための事前・事後対策(粗大ごみ処理施設におけるリチウムイオン電池への対策を含む。)について計画性と妥当性を期待する。 	4点	
		③ 基本性能の維持及びメンテナンス	6	<ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却施設及びリサイクル施設の基本性能の維持を考慮した点検、検査、補修及び更新について、計画性と妥当性を期待する。 30年間の使用を前提とした、事業期間中の効率的な更新整備や保全管理を充実するストックマネジメントの考え方に基いた施設の長寿命化対策について、計画性と実効性を期待する。 30年間の使用を前提とした、事業終了後10年間の運営コスト抑制のための方策について、妥当性を期待する。 	3点	
	エ 施設の安全性	① 災害時の安全確保	7	<ul style="list-style-type: none"> 災害廃棄物処理の対応について、計画性と妥当性を期待する。 地震、火災、停電等の予期せぬ災害の発生時における、本施設の被害の最小化及び安全に運転継続可能な施設の強靱化や施設利用者及び作業員の緊急避難について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性を期待する。 全国的な廃棄物処理施設の災害における経験を踏まえ、安定稼働の継続を見据えた用水、用役等の貯留容量の設定や備蓄、調達先の確保等に計画性と妥当性を期待する。 焼却処理が必要になった防疫品(インフルエンザの感染鳥等)に対し、衛生的な処理が可能な設備の構築を期待する。 	4点	
		② 作業環境及び施設利用者の安全確保	8	<ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却施設の施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱等を踏まえた作業環境、リサイクル施設における作業環境(夏季の暑さ対策等を含む。)の確保について、計画性と妥当性を期待する。 施設利用者に対する安全確保に対して、設計面及び運営面からの計画性と妥当性に期待する。 	2点	
	オ 運転管理	① 体制	9	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の組織体制及び運転管理体制において、各々の役割分担が明確であり、人員配置計画の妥当性を期待する。 運営面での効率化につながる創意工夫を期待する。 	2点	
		② 運転・維持管理	10	<ul style="list-style-type: none"> 予防保全を踏まえた維持管理計画書等を作成し、遵守するとともに、運営期間を通して、安定した運転管理及び維持管理の実効性を期待する。 性能保証事項(処理能力、公害防止基準等)の運転監視方法(常時及び定期測定)に対し、計画性と妥当性を期待する。 ごみ貯留量の変動に対する安定的なごみ処理について、運営面の計画性と実効性を期待する。 	3点	
(2) 環境負荷を低減する環境にやさしい施設						
	ア 環境負荷の低減と環境保全	① 温室効果ガスの抑制	11	<ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却施設及びリサイクル施設における温室効果ガスの最小化を期待する。 ごみ焼却施設及びリサイクル施設における温室効果ガスの抑制方策に実効性を期待する。 	3点	
		② 最終処分量	12	<ul style="list-style-type: none"> 最終処分量の最小化に期待する。 最終処分量を最小化するため、ごみ焼却施設及びリサイクル施設から生じる最終処分物(飛灰処理物、処理不適物等)の削減について、設計面及び運営面からの計画性と実効性を期待する。 	3点	
		③ 公害防止基準を満足するための取組み	13	<ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却施設及びリサイクル施設の各公害防止基準を満足するための方策に実効性を期待する。 更なる環境負荷の低減に向けた運転基準値、要監視基準値の設定について、計画性と妥当性を期待する。 	2点	

第5 提案書に関するヒアリング

審査委員会は、提案書の審査及び評価を行うにあたり入札参加者に対し、ヒアリングを行う。なお、ヒアリングについては、入札参加者の独自のノウハウに関する内容も含むことが想定されることから、非公開のもとで実施する。

ヒアリングの開催要領の詳細は、別途通知する。

第6 審査結果等の公表

審査結果等については、公表を行うとともに、入札参加者においては個別に通知する。